

東北海区沿岸水温予報(2002年2月)

海域	経過 (10~12月)	現況 (1月~2月上旬)	見通し (2~4月)	見通しの背景	特異現象 (漁海況)
三陸北部 (青森県太平洋沿岸;青森水試発表)	津軽暖流域の水温は平年並~やや低めで推移.津軽暖流の東方への張り出しは平年並~やや強め基調で推移.	津軽暖流の張り出しは平年並.沿岸定地水温は全般的に平年並~やや高め.	水温は全般的に平年並に推移.津軽暖流の東方への張り出しは平年並.	日本海の現況(水温は平年並,流勢やや強め)や親潮の動向等から判断した.	特になし.
三陸中部 (岩手県沿岸;岩手水セ発表)	10月は親潮が分断され,本県中部沖合域に冷水域が残った.11月は冷水域が消失し,暖水の張り出しが強まり,本県北部沖合域では暖水の影響を受けて平年より高めに推移した.12月は再び冷水の南下が本県沖合30海里付近に認められた.	100m深で5 以下の親潮第1分枝は認められないものの,沖合側から本県沖合域にかけて親潮第2分枝に連なる冷水の張り出しが認められた.また,本県北部沖合域には暖水塊の形成が認められた.	10海里以内及び10~70海里共に平年並~やや低め基調に推移する.	津軽暖流の下北半島東方への張り出しが平年並であること.親潮第1・2分枝に連なる冷水が南下傾向にあること.	県内主要6港における水揚げ状況(1月中旬現在)秋サケ(定置網)が宮古を中心に水揚げがみられ,今旬の水揚げは58トン(旬前年比58%),累計水揚げ量17,786トン(前年比128%).スケトウダラ(底曳網)が宮古を中心に水揚げがみられ,今旬の水揚げは507トン(旬前年の19倍),累計水揚げ量2,027トン(前年比52%).
三陸南部 (宮城県沿岸;宮城水セ発表)	10月は北部沖合海域から回り込む黒潮系暖水により,142°30'E以東の海域で平年より1~3 高めとなったが,以西の海域では冷水が残り平年より2~3 低めとなった.11月10日頃から北偏傾向であった黒潮系暖水が牡鹿半島以東に接岸を始め,江島の表面水が平年より極めて高めとなった.この影響は12月も続き,表面で平年より3~5 高め,100m深で2~4 高めとなった.	1月になり,仙台湾以南の沿岸海域で南からの黒潮系暖水の影響が残るものの,他の海域では親潮系冷水の影響が強まった.2月には沿岸海域の暖水もほぼ見られなくなり,概ね平年並~3 低めとなった.	表面・100m深とも平年並~平年よりやや低めで推移する.ただし,沖合中・南部海域は北上暖水の影響を断続的に受け,平年よりやや高めとなる.	平年の季節変動では親潮第1分枝が最も南下する時期となるため,沿岸海域を中心に現在分布する親潮系冷水は更に強まると予測される.ただし,本県沖合では黒潮系暖水が強勢で,沖合中・南部海域はこの影響を受けると考えられる.	マイワシ不漁(昨年比0.4%).
常磐北部 (福島県沿岸;福島水試発表)	10月:親潮系水が県北部から県南部沿岸にかけて南下した.黒潮系水は沖合寄り.11月:黒潮系水が沿岸まで波及し,県北部沿岸(東経141°30'以内)で平年よりやや低めとなった以外は,全域の表層~下層で高め~極めて高めとなった.12月:前月に引き続き,黒潮系暖水の勢力が強くなり,表層~下層で高め~極めて高めで,距岸50海里付近では平年より5~8 高くなった.	1月下旬:県南部沿岸に暖水舌が分布し平年よりやや高め~高め,県中北部沖合に親潮系冷水の南下がみられ,やや低め~低めとなった.	距岸30海里以内は「平年並み~やや低め」,それ以東の沖合では「平年並み~やや高め」.	親潮系冷水は平年並みに南下しており,沿岸の暖水舌は弱まる傾向にあるため,沿岸付近は親潮系冷水に覆われる.また,沖合には暖水塊が形成され,今後沿岸方向に進むと予想される.	10月:中旬に,一時的ながらも常磐北部海域にサンマ漁場が形成.10~11月:曳釣によるカツオの低調,メジの好漁.シラスの好漁.5月以降から漁が継続し,秋にまとまった水揚げがあった.1月~2月上旬:まき網によるサバ,アジ(豆アジ)の好漁.イワシ類(セグロ,マイワシ)の低調.
常磐南部~鹿島灘 (茨城県沿岸;茨城水試発表)	10月:黒潮は鹿島灘沖を北東方向に流れていたが,沿岸域への顕著な暖水波及はみられなかった.また,常磐南部~鹿島灘沖に親潮系冷水の差し込みがみられた.11月:黒潮は本県沖を北上し,沖合から沿岸域に黒潮系暖水が波及していた.また,鹿島灘の下層には親潮系冷水が存在した.12月:黒潮は常磐海域に接岸しており,黒潮系暖水が北から波及していた.	1月:黒潮は犬吠埼沖に存在し,沖合から沿岸域に黒潮系暖水が波及していた.2月:黒潮は犬吠埼沖に存在し,沿岸域に暖水舌が形成されている.また,常磐南部沖に親潮系冷水が差し込んでいる.	水温は常磐南部では「平年並~やや低め」,鹿島灘では「平年並~やや高め」で推移する.	三陸南部~常磐海域には冷水域が存在し,常磐南部海域への差し込みが継続すると考えられる.親潮系冷水の差し込みに伴い,沿岸域に形成されている暖水舌の勢力は弱まると考えられる.	常磐沖でのサンマ漁場形成が一時的であった(10月中旬).マダコが不漁であった(12~1月).

各階級の水温平年偏差の範囲

階級区分(出現率)	三陸北部	三陸中部		三陸南部	常磐北部	常磐南部~鹿島灘
		距岸10海里内	距岸10~70海里			
極めて高い(2.5%)	+2.4 ~	+4.0 ~	+6.0 ~	+2.4 ~	+4.0 ~	+4.0 ~
高い (7.5%)	+1.6~+2.3	+2.5~+3.9	4.0~+5.9	+1.6~+2.3	+2.5~+3.9	+2.5~+3.9
やや高い (20%)	+0.7~+1.5	+1.0~+2.4	1.5~+3.9	+0.7~+1.5	+1.0~+2.4	+1.0~+2.4
平年並み (40%)	+0.6~-0.6	+0.9~-0.9	1.4~-1.4	+0.6~-0.6	+0.9~-0.9	+0.9~-0.9
やや低い (20%)	-0.7~-1.5	-1.0~-2.4	1.5~-3.9	-0.7~-1.5	-1.0~-2.4	-1.0~-2.4
低い (7.5%)	-1.6~-2.3	-2.5~-3.9	4.0~-5.9	-1.6~-2.3	-2.5~-3.9	-2.5~-3.9
極めて低い(2.5%)	-2.4 ~	-4.0 ~	-6.0 ~	-2.4 ~	-4.0 ~	-4.0 ~